

子供の貧困と自殺対策に関する研究～都市部における課題解決方策～

研究分担者	藤原武男	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野	教授
研究協力者	木津喜雅	国立精神・神経医療研究センター自殺総合対策推進センター	室長
研究協力者	森田彩子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野	講師
研究協力者	那波伸敏	東京医科歯科大学統合教育機構	特任助教
研究協力者	松山祐輔	東京医科歯科大学国際健康推進医学分野	助教
研究協力者	谷友香子	東京医科歯科大学国際健康推進医学分野	助教
研究協力者	伊角彩	東京医科歯科大学国際健康推進医学分野	プロジェクト助教
研究協力者	土井理美	東京医科歯科大学国際健康推進医学分野	プロジェクト助教
研究協力者	福屋吉史	東京医科歯科大学大学院	博士課程2年
研究協力者	小山佑奈	東京医科歯科大学大学院	博士課程1年
研究協力者	馬場優子	足立区衛生部こころとからだの健康づくり課	課長

研究要旨： 成人、高齢者の自殺は減少傾向にあるものの、子供の自殺は一向に減少していない。その要因の一つとして近年注目される子どもの貧困が関与している可能性が考えられる。そこで、2017年に実施した「足立区子どもの健康・生活実態調査」における小4、小6、中2におけるデータを解析したところ、子どもの自己肯定感、ロールモデルおよびサードプレイスの存在によって貧困であるかどうかによらずに高められることが明らかになった。これらにアプローチする政策が子どもの自殺対策となる可能性がある。

A. 研究目的

成人、高齢者の自殺は減少傾向にあるものの、子供の自殺は一向に減少していない。その要因の一つとして近年注目される子どもの貧困が関与している可能性が考えられる。子どもの貧困自体は解消することが難しいため、貧困であるなしに関わらず効果のある、介入可能な要因を明らかにすることができれば政策提言につながる。本研究の目的は、子どもの貧困と子どもの自己肯定感について多変量解析によってその要因を明らかにし、介入可能な自殺対策を検討することである。

B. 研究方法

足立区において実施した「子どもの健康・生活実態調査」における小4、小6、中2のデータ（N=1652、有効回答率82.8%）を用いた。この調査において、子どもの自記式による自己肯定感（児童用コンピテンス尺度の自己価値下位尺度、桜井、1992）を把握した。さらに、子どもの生活習慣（朝食欠食）、家庭環境（貧困状況、

虐待、ネグレクト（夜間の放置）、親のメンタルヘルス（K6）、学校環境（教師が好きか、学校が楽しいか）、地域環境（親以外のロールモデルの存在、自宅・学校以外の放課後のサードプレイスの存在）を把握した。子どもの自己肯定感を連続量としてこれらの要因について多変量解析を行い、標準化偏回帰係数（ β ）でその関連の強さを比較した。

（倫理面への配慮）

東京医科歯科大学の倫理委員会の承認を得た。

C. 研究結果

これらの要因で子どもの自己肯定感の19%を説明できることが明らかとなった。多変量解析の結果、学校での友人関係（ $\beta=0.18$, $p<0.001$ ）、ロールモデルの存在（ $\beta=0.11$, $p<0.001$ ）、朝食欠食（ $\beta=0.09$, $p<0.001$ ）、親のメンタルヘルス（ $\beta=0.07$, $p<0.01$ ）、ネグレクト（ $\beta=0.07$, $p<0.01$ ）、教師との関係（ $\beta=0.07$, $p<0.01$ ）、サードプレイス（ $\beta=0.07$, $p<0.01$ ）の存在の順で有意に自己肯定感と関連していた。貧困状

況および虐待は独立した有意な関連は見られなかった。

D. 考察

この結果から、子どもの自己肯定感を高めるためには、学校が楽しいと思える環境づくりが重要であること、またロールモデルとなる、地域における第3の大人の存在が有効であった。さらに、サードプレイスの提供が家庭環境における影響と同程度の影響力を持って子どもの自己肯定感に影響していることが明らかとなった。これらは相互に関連している部分もあると考えられるが、今回の解析では独立した影響を見ているので、それぞれに介入することで効果が期待できる。学校での友人関係については介入が難しいが、地域が子どもへの関心を高め、子どもにとってのロールモデルとなることは、今後の地域づくりの中でできる可能性がある。また、サードプレイスについても、地域づくりの中で子どもの安全な居場所を積極的に考えていくべきだろう。

これらの結果から、行政および学校関係者が直接子どもの自己肯定感を高める政策を実施することによって子どもの自殺予防につながる可能性が示唆された。

E. 結論

貧困状態に関わらず、ロールモデル、サードプレイスの充実により子どもの自己肯定感を高められる可能性が示唆された。これらにアプローチする政策が子どもの自殺対策となる可能性がある。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Doi S, Fujiwara T, Ochi M, Isumi A, Kato T. Association of sleep habits with behavior problems and resilience of 6- to 7-year-old children: Results from the A-CHILD study *Sleep Medicine*. 2018.02; 45; 62-68 10.
2. Maho Haseda, Naoki Kondo, Toyo Ashida, Yukako Tani, Daisuke Takagi, Katsunori Kondo. Community Social Capital, Built Environment, and Income-Based Inequality in Depressive Symptoms Among Older People in Japan: An Ecological Study From the JAGES Project. *J Epidemiol*. 2018.03; 28(3); 108-116 13.

3. Doi S, Fujiwara T, Isumi A, Ochi M, Kato T. Relationship Between Leaving Children at Home Alone and Their Mental Health: Results From the A-CHILD Study in Japan. *Frontiers in psychiatry*. 2018.05; 9(192); 22.
4. Masashi Kizuki, Manami Ochi, Aya Isumi, Tsuguhiko Kato, Takeo Fujiwara. Parental Time of Returning Home From Work and Child Mental Health Among First-Year Primary School Students in Japan: Result From A-CHILD Study. *Frontiers in Pediatrics*. 2018.07; 6; 179
5. Murayama Hiroshi, Fujiwara Takeo, Tani Yukako, Amemiya Airi, Matsuyama Yusuke, Nagamine Yuiko, Kondo Katsunori. Long-term Impact of Childhood Disadvantage on Late-Life Functional Decline Among Older Japanese: Results From the JAGES Prospective Cohort Study. *J Gerontol A Biol Sci Med Sci*. 2018.07; 73(7); 973-979 25.
6. Honjo K, Tani Y, Saito M, Sasaki Y, Kondo K, Kawachi I, Kondo N. Living Alone or With Others and Depressive Symptoms, and Effect Modification by Residential Social Cohesion Among Older Adults in Japan: The JAGES Longitudinal Study. *J Epidemiol*. 2018.07; 28(7); 315-322 26.
7. Kizuki Masashi, Fujiwara Takeo. Adult Attachment Patterns Modify the Association Between Social Support and Psychological Distress. *Frontiers in Public Health*. 2018.09; 6; 249 28.
8. Isumi A, Fujiwara T, Nawa N, Ochi M, Kato T. Mediating effects of parental psychological distress and individual-level social capital on the association between child poverty and maltreatment in Japan. *Child abuse & neglect*. 2018.09; 83; 142-150 29.
9. Satomi Doi, Masaya Ito, Yoshitake Takabayashi, Kumiyako Muramatsu, Masaru Horikoshi. Factorial validity and invariance of the 7-item Generalized Anxiety Disorder Scale (GAD-7) among populations with and without self-reported psychiatric diagnostic status *Front Psychol*. 2018.09; 9; 1741.
10. Matsuyama Y, Fujiwara T, Ochi M, Isumi A, Kato T. Self-control and dental

- caries among elementary school children in Japan. *Community dentistry and oral epidemiology*. 2018.10; 46(5); 465-471 33.
11. Takahashi Y, Fujiwara T, Nakayama T, Kawachi I. Subjective social status and trajectories of self-rated health status: a comparative analysis of Japan and the United States. *Journal of public health (Oxford, England)*. 2018.10; 40(4); 713-720 34.
 12. Tani Y, Suzuki N, Fujiwara T, Hanazato M, Kondo N, Miyaguni Y, Kondo K. Neighborhood food environment and mortality among older Japanese adults: results from the JAGES cohort study. *International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity*. 2018.10; 15(1); 101 35.
 13. Kusama T, Aida J, Sugiyama K, Matsuyama Y, Koyama S, Sato Y, Yamamoto T, Igarashi A, Tsuboya T, Osaka K. Does the type of temporary housing make a difference in social participation and health for evacuees of the Great East Japan Earthquake and Tsunami?: A Cross-sectional Study. *Journal of epidemiology*. 2018.10; 36.
 14. Nawa N, Isumi A, Fujiwara T. Community-level social capital, parental psychological distress, and child physical abuse: a multilevel mediation analysis. *Social psychiatry and psychiatric epidemiology*. 2018.11; 53(11); 1221-1229.
 15. Ichikawa K, Fujiwara T, Kawachi I. Prenatal alcohol exposure and child psychosocial behavior: a sibling fixed-effects analysis. *Front Psychiatry*. 2018.11; 9:570.
 16. Doi S, Fujiwara T. Combined effect of adverse childhood experiences and young age on self-harm ideation among postpartum women in Japan. *Journal of Affective Disorders*. (in press).
2. 学会発表
 1. Takeo Fujiwara. school social capital and child mental health. 10th ISSC Conference. 2018.6.15. Hvar Croatia.
 2. Takeo Fujiwara. Association between childhood suicidal ideation and geriatric depression: a life-course approach. European Congress of Epidemiology 2018. 2018.7.6. Lyon, France.
 3. Takeo Fujiwara. Childhood Poverty, Parenting, And Caries: A Mediation Analysis. European Congress of Epidemiology 2018. 2018.7.6. Lyon, France.
 4. Ayako Morita, Takeo Fujiwara. Risk for late-life depression associated with childhood suicidal ideation. European Congress of Epidemiology 2018. 2018.7.6. Lyon, France.
 5. 藤原武男. 子どもの貧困と健康:政策介入の可能性、第59回日本社会医学学会総会、平成30年7月21日、栃木.
 6. 藤原武男. 子どもの健康を守る社会環境とは、第67回東北公衆衛生学会、平成30年7月27日、宮城.
 7. Doi S, Fujiwara T, Ochi M, Isumi A, Kato T. Relationships between sleep habits and mental health among Japanese 6 to 7-year-old children: Results from the A-CHILD study. The 21st International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology. 2018.8.20. Saitama, Japan.
 8. Satomi Doi, Takeo Fujiwara. Association between adverse childhood experiences and thoughts of self-harm among postpartum women. ISPCAN XXII International Congress on Child Abuse and Neglect. 2018.9.2. Prague Czech.
 9. Nawa N, Isumi A, Fujiwara T. Neighborhood social capital, parental depression, and physical abuse toward children: multilevel mediation analyses. ISPCAN XXII International Congress on Child Abuse and Neglect. 2018.9.4. Prague Czech.
 10. 藤原武男. 子どもの自己肯定感を決めるものは何か:足立区における実態調査(A-CHILD Study)、第59回日本児童青年精神医学会総会、平成30年10月11日、東京.
 11. 山田成人、伊角彩、藤原武男. 育児について夫や他の人に相談できない母親の産後うつリスクは高いか?、第77回日本公衆衛生学会総会、平成30年10月24日、福島.
 12. 小山佑奈、藤原武男. アルコール小売店舗の減少によって児童虐待は減るのか、第77回日本公衆衛生学会総会、平成30年10

月 25 日、福島。

13. 藤原武男. ライフコースと健康、第 77 回日本公衆衛生学会総会、平成 30 年 10 月 25 日、福島。
14. 井上裕子、伊角彩、土井理美、藤原武男. 小中学生の保護者はなぜ子どものう蝕を放置するのか？関連要因の探索研究：A-CHILD 研究、第 77 回日本公衆衛生学会総会、平成 30 年 10 月 25 日、福島。
15. 福屋吉史、伊角彩、越智真奈美、土井理美、森田彩子、木津喜雅、藤原武男. 小学校 2 年児の投稿しぶりと家庭内のリスク要因：A-CHILD 縦断研究、第 77 回日本公衆衛生学会総会、平成 30 年 10 月 26 日、福島。
16. 土井理美. 産後の自傷念慮に与える幼少期の逆境体験と若年妊娠の相乗効果、第 29 回日本疫学会学術総会、2019 年 2 月 1 日、東京。
17. 森田彩子. 子ども時代の希死念慮が老年期うつ病に与える影響、第 29 回日本疫学会学術総会、平成 30 年 2 月 1 日、東京。

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし